

第29回 航空輸送技術連絡会

安全運航維持のための 商船三井の取り組み

2026/01/30

株式会社商船三井 海上安全部長
米田 輝希



米田 輝希 / Captain YONEDA Teruki

1998年 大阪商船三井船舶株式会社（現株式会社商船三井）入社
1998-2006年 三等航海士、二等航海士、次席一等航海士として乗船勤務
2006-2010年 LNG船 船舶管理会社勤務
2011年 一等航海士として乗船勤務
2015年 海上安全部業務グループ マネージャー
2018年 海上安全部安全推進チーム マネージャー
2020年 船長として乗船勤務
2021年 人事部 配乗人事チームリーダー
2024年 人事部 副部長

（現職）株式会社商船三井 海上安全部長



海運業界について
What is Shipping industry ?

人々の生活を支える様々なものを運ぶ
貿易 規模が大きい
世界への挑戦
責任ある仕事
船
世界の人々の生活の根幹を支える業界
社会を支える存在
輸出入 インフラのインフラ
カッコいい
ロマン
長い歴史
地球の血液
船を通して物を運ぶ仕事
物流の土台 **グローバル**
ダイナミック

会社概要

商号	株式会社 商船三井 Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.
本社	東京都港区虎ノ門2丁目1番1号
創業年	1884年
資本金	665億円
連結売上高	17,760億円（2025年3月期）
経常損益	4,200億円（2025年3月期）
従業員	1,329名（陸上976名 海上353名）
グループ会社従業員数	10,500名（当社及び連結決算対象会社）
グループ運航船舶規模	935隻（世界第2位） ※LNG船保有隻数 世界第1位



目次

1. 航空と海運
2. 海運におけるSMS
3. 安全運航維持のための取り組み
4. まとめ

航空と海運

商船三井

船隊規模：935隻 (2025年3月時点 連結子会社・持分法適用会社含む)

寄港する国の数：100か国以上 (海に面する国145国)

<船隊概要>

主要海運事業	輸送貨物
ドライバルク船事業	鉄鉱石 / 石炭 / 穀物 / その他
油送船事業	原油 / 液体化学品 / 液化石油ガス
LNG船事業	液化天然ガス
自動車船事業	自動車 / 建設機械 / トラック
コンテナ船事業	コンテナ (家具、衣料、食料、家電など)

非海運海上事業	概要
フェリー・RORO船	自動車 / トラック・貨物 / 旅客
クルーズ船事業	クルーズ船 (にっぽん丸/MITSUI OCEAN FUJI)
タグボート事業	曳船 (出入港支援、警戒、曳航など)

その他事業

不動産

ターミナル事業

風力エネルギー関連事業

ロジスティクス事業

人材関連事業

など

	航空	海運（商船三井）
ハード （機体 / 船体）	保有機 リース機	935隻のうち社船仕組船 約250隻 その他 傭船、共同保有船など
ソフト （乗組員）	社員 またはグループ会社社員	社船仕組船（当社保有船） <ul style="list-style-type: none"> ・当社社員 ・当社グループマンニング会社所属船員 フィリピン・インド・欧州・インドネシア・パナマ 傭船（単純傭船） <ul style="list-style-type: none"> ・船主手配

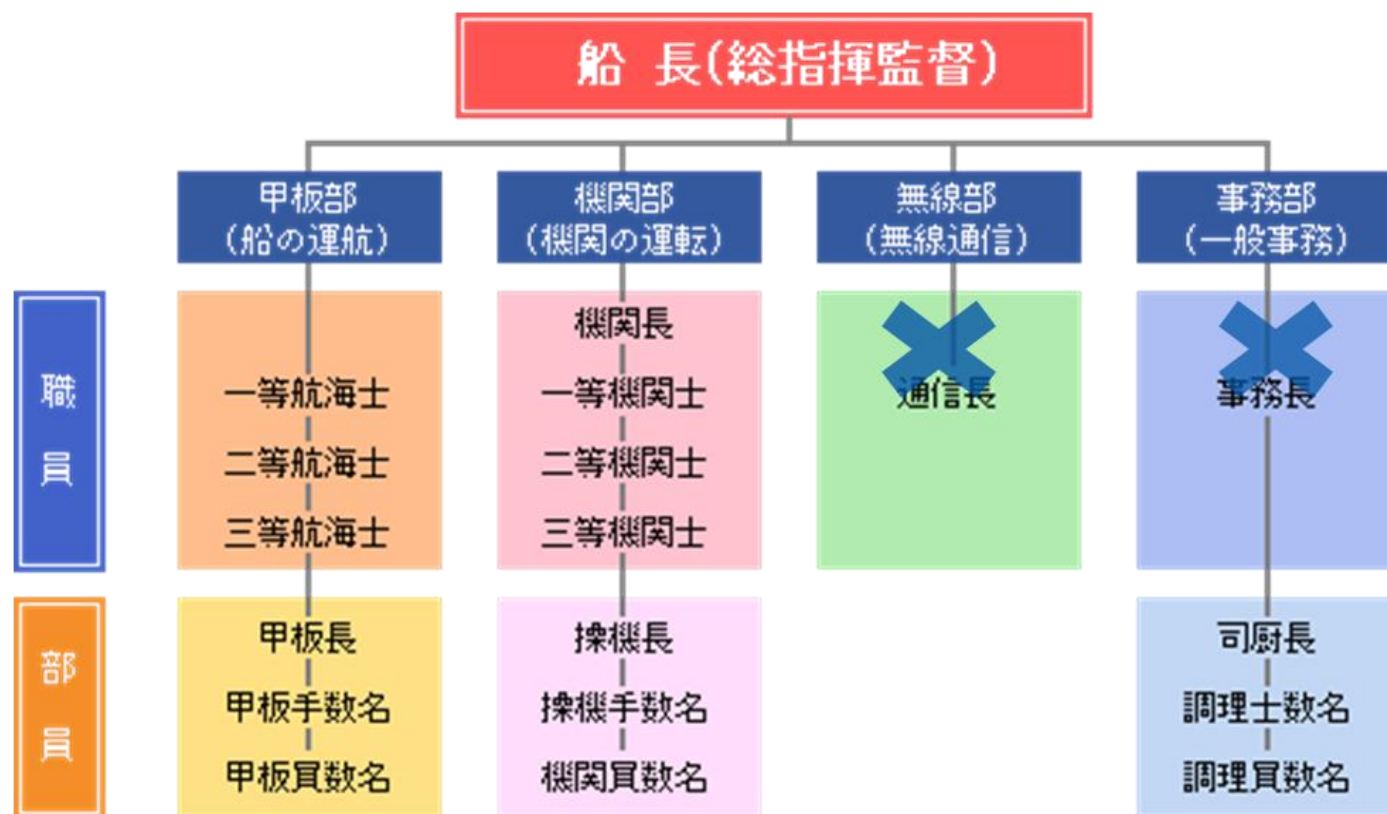
（ご参考） 船の乗組員

海運に従事する一般貨物船乗組員は20-30名 （船長を含む）
日本船主協会より

https://www.jsanet.or.jp/qanda/text/q3_33.html

参考：乗組員構成

② 船内の組織と業務



	航空	海運（商船三井）
運航指示	運航スケジュール	運航形態次第ではあるが Sailing Instruction による航海指示 （次ページ参照）
運航（航海）計画	運航管理者 機長による承認	船長の指示に基づき、 航海士：航海計画を作成 機関長：燃料油使用計画を作成
積み付け	（貨物）運航管理者	積/揚指示を元に一等航海士が積み付け 揚げ荷計画を作成
整備	陸上整備	外板、主機関などの入渠（ドック）工事を除き PMS(Planned maintenance system)に基づく 乗組員によるランニング整備が中心

Sailing Instruction の一例（バルクキャリア）

1. SAILING SCHEDULE

Please proceed with the time shortest by the route safest among following ports unless otherwise instructed.

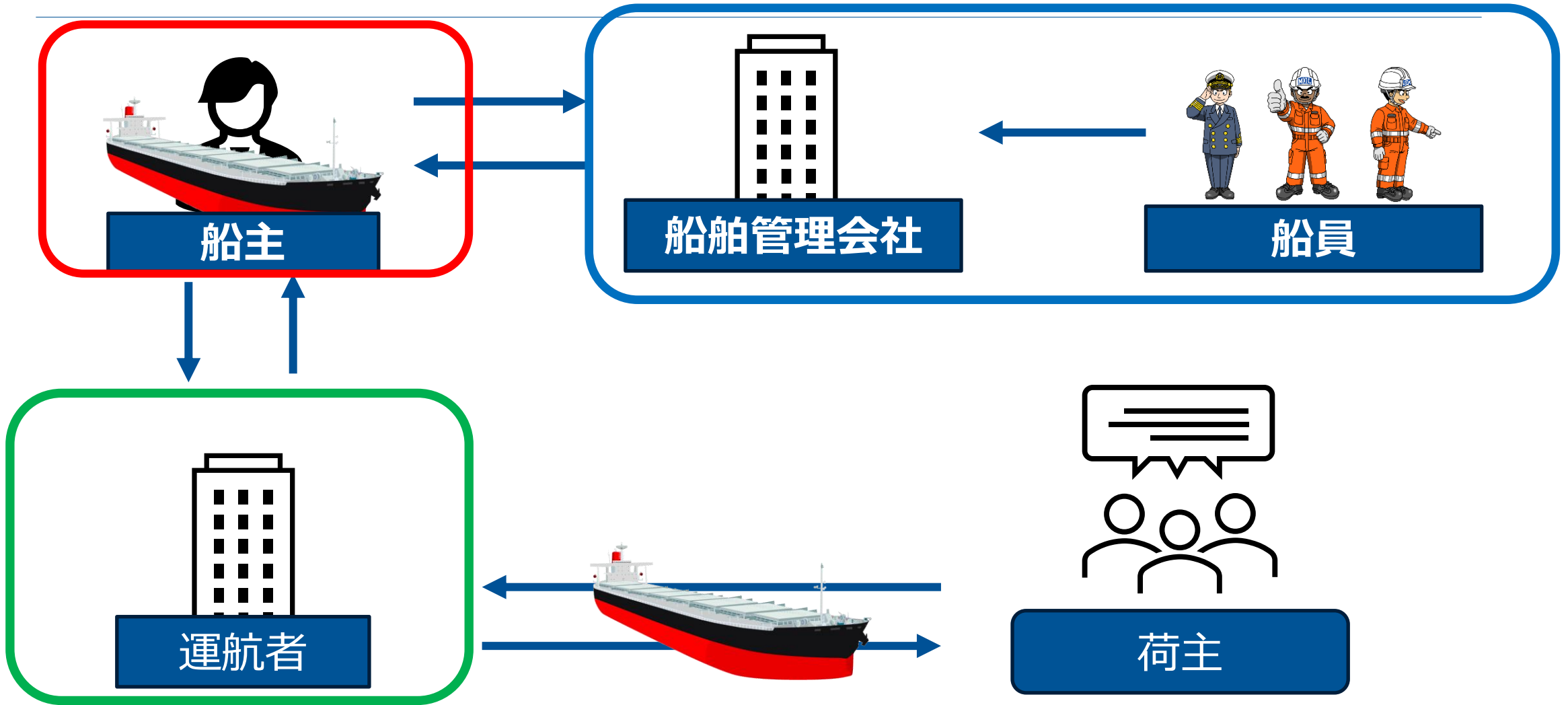
Port/Position	ETA	ETD	Remarks
China		9 th /Nov	Commencement of V-40A on DLOSP
Torres Strait	22 nd /Nov	23 rd /Nov	
Cape Flattery, Australia	26 th /Nov	28 th /Nov	Loading
, South Korea via Torres Strait	12 th .Dec	14 th / Dec	Discharging/Bunkering
China	16 th / Dec	19 th /Dec	Discharging Completion of V-40A on DLOSP

* DLOSP: Dropping Last Outwards Sea Pilot

2. GIST OF THE CONTRACT

1. **LOADING PORT** : 1 safe berth, 1 safe port of Cape Flattery, Australia
2. **DISCHARGING PORT** : 1 safe berth, 2 safe ports of , Korea / , China
3. **CARGO** : Silica Sand in bulk, Cargo qty : 49,280mt
4. **CARGO CHARTERER** :
5. **STEVEDORE** : F.I.O.S.T. (Free In and Out Stowed and Trimmed)
6. **LOADING TERM** : 20,000mt per WWD SHINC
Laytime shall commence at 13:00 hours if Notice of Readiness is given up to and including 12:00 hours, and at 08:00 hours next working day if Notice of Readiness given during office hours after 12:00 hours. Notice of Readiness at loading port to be given to Seller or their agents.
7. **DISCHARGING TERM** : 7,000mt per WWD SHEX
8,000mt per WWD SHINC

	航空	海運（商船三井）
管理	SMSに従った安全管理規程 運航者によるSMS維持	ISMコードに従い 船舶管理会社によるSMSに従った船舶管理
SMS	ICAOが定める シカゴ条約の付属書 Annex19 Safety Management 対象 航空会社 航空整備事業者 など	IMO（International Maritime Organization） SOLAS条約付属書 ISMコード （International Safety Management Code） 目的：安全運航を確保し、人命・財産・海洋環境 の損害防止 対象 ISMコードはSOLAS条約に基づく国際的な安全管理 の枠組みであり、 船舶管理会社 と 船舶 に対して、安全 文化の定着とリスク管理の仕組みを義務付けています。 船舶管理会社はISMコードに従いSMSを構築、船舶 管理を行う。



海運におけるSMS

船舶管理会社

船舶管理会社の主な業務 ISMコードに従った船舶管理

1. 技術管理

船体・機関の保守管理
修繕等の手配、調達


2. 安全管理

安全管理マニュアルや手順書の維持管理
リスクアセスメント、安全作業承認
国際条約、各国ルール対応
内部監査の実施、外部監査対応

3. 乗組員管理

乗組員の配乗管理
労務管理監督

Page 1 of 4



番号 第 号
Certificate No. 26HO-000300SMC

安全管理証書
SAFETY MANAGEMENT CERTIFICATE

日本国
JAPAN

1974年の海上における人命の安全のための国際条約に基づき、日本国政府の権限の下に、日本海事協会が発給する。
Issued under the provisions of the INTERNATIONAL CONVENTION FOR THE SAFETY OF LIFE AT SEA, 1974, as amended under the authority of the Government of Japan by NIPPON KAIJI KYOKAI.

船名 Name of ship :	ORCHID ACE
船舶番号又は信号符字 Distinctive number or letters :	ORCHID ACE
船籍港 Port of registry :	140752
船舶の種類 Type of ship* :	東京都 Tokyo
総トン数 Gross tonnage :	その他の貨物船 Other cargo ship
国際海事機関船舶識別番号 IMO Number :	59,262
	IMO 9381677
会社の名称及び住所	
Name and address of the Company :	MOL GLOBAL SHIP MANAGEMENT PTE. LTD.
	5 Shenton Way, #14-06, UIC Building, Singapore 068808
国際海事機関会社識別番号 Company identification number:	
	IMO 6324712


この証書は、本船が適合書類に掲げる船舶の種類につき適切であることを審査したのち、船舶の安全管理システムの審査を受け、国際安全管理規則（ISMコード）の要件に適合していることを証明する。

THIS IS TO CERTIFY THAT the safety management system of the ship has been audited and that it complies with the requirements of the International Management Code for the Safe Operation of Ships and for Pollution Prevention (ISM Code), following verification that the Document of Compliance for the Company is applicable to this type of ship :

*Insert the type of ship from among the following: passenger ship; passenger high-speed craft; cargo high-speed craft; bulk carrier; oil tanker; chemical tanker; gas carrier; mobile offshore drilling unit; other cargo ship

SMC-JPN(2024.10)

<https://e-certificate.classnk.or.jp/verification.aspx?imo=9381677&id=92404-13493-89989-11510>



商船三井における 安全管理運航維持のための取り組み

船舶管理会社（船主）としての安全運航維持

1. 技術管理

船舶管理会社担当監督による訪船、
現場状況確認



入渠工事
外板、主機等整備 各種検査の実施

- 日々の本船乗組員とのコミュニケーション
- PMS（Planned Maintenance System）を利用した整備状況の把握
- 予備品、その他船用品の手配など

3

安全運航維持のための取り組み

船舶管理会社（船主）としての安全運航維持

2. 安全管理



陸上・船上が連携して、着実に安全運航を維持する取り組みを続けています。

船舶管理会社（船主）としての安全運航維持

3.乗組員配乗

雇用期間に基づいた人員交代計画を立案実行していく。

契約形態にもよるが、3か月から10か月間乗船期間があり適切なタイミング、場所（港）での交代を実施。

<船員教育>

フィリピン、インド、オランダ、インドネシア、パナマのマンニング会社トレーニングセンターを設け船員教育を実施
日本にも商船三井船員教育訓練用にトレーニング施設を有する。



全方位視野に対応した操船シミュレータ



実機の操縦装置を配した機関シミュレータ



3 安全運航維持のための取り組み

船主としての安全運航維持

Safety Conference

フィリピン インド 東京
クロアチア インドネシアにおいて
毎年開催



<https://www.mol.co.jp/info/article/2025/0521.html>

運航者としての安全運航維持

Safety Campaign

乗船中の乗組員との対話

2025年はオンラインを含め
195隻に対して実施
参加人数約3900名



<https://www.mol.co.jp/info/article/2025/1218b.html>

3 安全運航維持のための取り組み

運航者としての安全運航維持

鹿島海岸清掃

2006年に発生した鹿島沖でのGiant Step号座礁沈没事故の記憶と教訓の風化防止として毎年10月実施



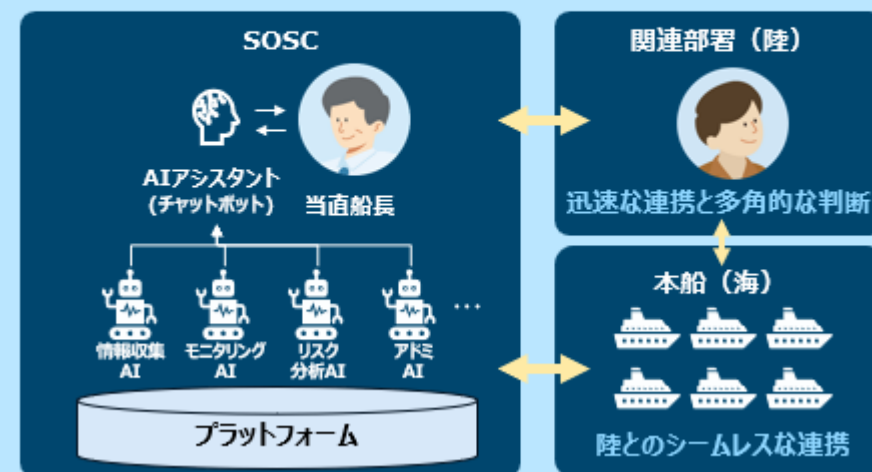
運航者としての安全運航維持

SOSC (Safety Operation Support Center)



「Never Leave the Captain Alone」をスローガンに
24時間365日「船長」による運航サポートを実施

- ・ 当直とAIの協業によりオペレーション遂行
- ・ 情報収集や分析等をAIが自動的に実施
- ・ データプラットフォームをフル活用し、安全を支援



ヒト + AI (現在進めている取り組み)

まとめ

4 まとめ

1

船主・船舶管理会社としての安全管理

2

運航者としての安全運航の実践

3

総合海運会社としての取り組み

